

Oota 憲法 School

第2回 2021年12月2日(木)

「総選挙の結果をどう見るか」

～改憲を巡る新たな情勢～

講師 渡辺 治 さん
(一橋大学名誉教授)



2021年10月31日、衆議院議員総選挙がありました。開票の結果、自民党261議席、公明党32議席に加え、維新の41議席で改憲勢力は衆院で334議席となり、改憲発議に必要な310議席を上回りました。岸田文雄首相は、さっそく1日の記者会見で「党是である憲法改正を積極的に進めたい」と発言しました。2日には日本維新の会の松井一郎代表が、来年の参院選の投票と同日で改憲の国民投票を実施すべきだと発言しました。

米中対立が激化し、安保法制のもとで台湾海峡有事への自衛隊の参戦も視野に日米同盟強化が強調されています。安保法制を正当化するための改憲への動きが急になる危険性が強まっています。

自民党は総選挙公約には、「早期の憲法改正」を明記。安倍政権下でつくられた「改憲4項目」（9条への自衛隊明記、緊急事態条項創設、合区解消、教育充実）の推進もうたいました。

改憲を強行しようとする動きを踏まえ、今回の総選挙の結果をどう見るか、そして改憲を巡る情勢を共有し、今後の取り組みを考えたいと思います。

時間 18:30～20:30 参加費 無料

Zoomを利用して開催します。参加希望の方は、下記サイトかQRコードよりご登録ください。

<https://forms.gle/7DHBnyUujCcGg3JM7>



主催 大田憲法会議 (憲法改悪阻止大田連絡会議)

連絡先 03-3736-1141

黒澤・木村

<http://www.nanbu-law.gr.jp/>